



文部科学省後援 第2回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2016年12月24日(土)、25日(日)

(1日目) 予選4試合、(2日目) 準々決勝、準決勝、決勝、ショートレクチャー

会場：大阪府立大学なかもずキャンパス 学術交流会館

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：大阪府立大学

後援：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、
一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

助成：公益財団法人 日本財団



参加校：

(北海道) 札幌聖心女子学院高等学校1、(青森県) 青森県立弘前高等学校1、八戸聖ウルスラ学院高等学校1、(山形県) 山形県立山形東高等学校1、(栃木県) 栃木県立佐野高等学校2、(群馬県) 群馬県立前橋高等学校2、(埼玉県) 埼玉県立浦和高等学校1、さいたま市立浦和高等学校2、(千葉県) 翔凜高等学校2、(東京都) 筑波大学附属駒場高等学校2、暁星高等学校1、富士見高等学校2、(神奈川県) 神奈川県立厚木高等学校2、神奈川県立湘南高等学校2、浅野高等学校2、栄光学園高等学校2、洗足学園高等学校1、(長野県) 長野県松本県ヶ丘高等学校2、長野県上田染谷高等学校2、長野県長野高等学校2、長野県立松本深志高等学校2、(岐阜県) 聖マリア女学院高等学校1、(愛知県) 愛知県立旭丘高等学校2、清林館高等学校1、東海高等学校1、(京都府) 京都府立嵯峨野高等学校1、京都市立紫野高等学校1、(大阪府) 大阪教育大学附属高等学校平野校舎2、大阪府立豊中高等学校2、関西創価高等学校1、(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校2、甲陽学院高等学校1、(島根県) 島根県松江北高等学校2、(岡山県) ノートルダム清心学園清心女子高等学校2、(山口県) 山口県立大津緑洋高等学校2、(福岡県) 福岡県立城南高等学校2、(熊本県) 熊本県立済々黉高等学校1、熊本県立八代高等学校2、真和高等学校2、(鹿児島県) 鹿児島県立大島高等学校1

40校 64チーム

補欠チーム：

(大阪府) 関西創価高等学校、(茨城県) 茨城県立竹園高等学校

開催趣旨：

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの 普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習 意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。（参照：文部科学省 助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>）

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

予選 1： Priority seats on trains should be abolished.

（電車の優先席を廃止するべきだ。）

予選 2： Genetically modified organism brings us more benefits than harm.

（遺伝子組み換えの作物は害よりも利益をもたらす。）

予選 3： We should welcome the rent subsidies for female students of University of Tokyo.

（東大女子学生への家賃補助に賛成するべきである。）

予選 4： Japan should have nuclear weapons.

（日本は核兵器を持つべきである。）

準々決勝： Japan should raise its consumption tax rate.

（消費税を上げるべきである。）

準決勝： Media should broadcast Tsunami Warnings in a slightly exaggerated manner.

（マスコミは津波警報をやや過大に報道すべきである。）

決勝： Having casinos in Japan does more good than harm.

（日本におけるカジノは害よりも利益をもたらす。）

ショートレクチャー講師：

- 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 東條 元昭 氏
- 外務省 在スリランカ日本国大使館 二等書記官 伊藤 久仁良 氏
- 大阪市立大学大学院工学研究科 都市系専攻・河海工学分野 講師 中條 壮大 氏

※ 2 日目は、準々決勝に残らなかったチームや教員にも勉強の機会になればと、本大会で取り扱った論題について、専門家からの解説時間を設けました。

1 日目

開会式では、64 チームの参加高校が紹介されました。全国から多数の高校生が集まり、会場は満員でのスタートでした。大会でのルール諸注意、大会ジャッジまた 트레이ニーとして参加していただいた教員や大学生へ向けたジャッジ手順の確認が行われました。PDA の合宿や研修会に参加し、自身でのディベート実践やジャッジを経験された教員が大会ジャッジとなり、経験のないまたは浅い先生方には 트레이ニージャッジとして各テーブルで各試合を学んでいただきました。



開会式の様子
(PDA 代表理事・中川智皓による
挨拶・説明)

予選が開始されました。64 チームが一斉にディベートを行います。準備をしている生徒たちの顔にも緊張の表情が浮かんでいます。予選 1 の論題は「電車の優先席を廃止すべきである。」です。



準備時間中の様子



ラウンドの様子
POI (質疑応答) も盛ん

予選 2 の論題は「遺伝子組み換え作物は害よりも利益をもたらす。」です。苛烈な議論や POI が多く繰り広げられたテーブルもあり、だんだん会場がヒートアップしていきました。



第 2 ラウンドの様子



ジャッジのコメントを真剣に
聞いています

予選3の論題は「東大女子学生への家賃補助に賛成すべきである。」です。昨今話題になった内容ですが、意表を突いたようで意見が思いつかない！と準備時間に焦ったチームもあったようです。高校生の立場から多くの議論がなされました。



第3ラウンドの様子



小会議室（別会場）の様子

予選4論題は「日本は核兵器を持つべきである。」です。国際的で政治要素の強いお題が取り扱われました。本最終予選ラウンドはクローズ（ジャッジはその場で勝敗やコメントを公表しません。結果はコメントシートに記入し、翌日返却されます）でした。結果は、明日までのお楽しみです。



大人顔負けの迫力ある
スピーチがたくさん
ありました



ラウンドが終われば握手！



聞く態度も真剣です

4 ラウンドが終わるころには、生徒の皆さんの顔にも疲労が浮かんでいました。しかし、4 ラウンド、全力を出し切った良い顔を見せ、1 日目が終了しました。

その前に！なんと、会場にサンタが登場！4 ラウンド頑張った生徒・教員の皆さんへささやかなプレゼントが！Merry Christmas! See you next day!



A present for you!



サンタは大人気

2 日目

2 日目は、準々決勝出場チームの発表（Break Announcement）から始まります。朝早くから、わくわくした顔の生徒の皆さんが次々と会場に集まってきました。

まずは、ジャッジブレイクが発表されました。教員や社会人などによるジャッジは、勝敗を出し、ディベーターである生徒にその理由と個人コメントを、論理的にかつ教育的配慮を伴いながら述べます。ジャッジのコメントに対して、いかに生徒が納得できたか、また次への学習意欲を高めることができたかの観点で、生徒がジャッジに点数をつけます。平均点が高かった 20 名の先生方が選ばれました。おめでとうございます。

次に、準々決勝に出場するチームが 1 位から 8 位まで発表されました。歓喜の声が上がりました。

予選結果

- 予選 1 位 愛知県立旭丘高校 B
- 予選 2 位 洗足高校
- 予選 3 位 浅野高校 A
- 予選 4 位 神戸大学附属中等教育学校 A
- 予選 5 位 長野県長野高校 A
- 予選 6 位 栃木県立佐野高校 A
- 予選 7 位 長野県松本県ヶ丘高校 A
- 予選 8 位 さいたま市立浦和高校 A



嬉しくて涙ぐむチームも

準々決勝の論題は「消費税を上げるべきである。」です。出場者が準備をしている間、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授 東條元昭氏による遺伝子組み換えの作物（昨日の予選2の論題）について解説していただきました。



東條先生による、
遺伝子組み換え作物の
利点と欠点の解説

準々決勝が4つの会場で行われました。高校生にも身近ではある消費税を日本の国政を背景に肯定、あるいは否定している姿が印象的でした。



緊迫した準々決勝(1)



緊迫した準々決勝(2)

準々決勝が終わったら、お昼休みです。サロンにて、大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 機械力学研究室の大学院生によるパーソナルモビリティのデモンストレーションがありました。高校生たちも倒立振り子型車両（セグウェイのような）を試乗しました。



なかなか日本では乗ることの
できない倒立振り子型車両に
Try!

昼食後、準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「津波警報は、やや過大に報道すべきである。」です。災害とメディアに関する話題が選ばれました。また、15分の準備時間の間、外務省在スリランカ日本国大使館二等書記官 伊藤 久仁良 氏に Skype を通じて、準々決勝の論題であった消費税に関するレクチャーを行っていただきました。



準決勝の様子（小会議室）



準決勝の様子（メインホール）

準決勝のあとは、いよいよ決勝戦です。決勝の論題は「日本におけるカジノは害よりも利益をもたらす。」です。カジノ法案が可決された日本では非常にホットな話題です。3位決定戦も同時に行われました。また、大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻・河海工学分野 講師の中條壯大氏に、準決勝で取り扱われた論題である津波に関するレクチャーを準備時間中に行っていただきました。



ジャッジの先生方も真剣に審査



優勝はどちらの手に！

決勝戦、3位決定戦が終了し、表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われました。また、第2回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会（ワールドコングレス）への出場権を手に入れた学校も発表されました。

第2回 PDA 即興型英語ディベート全国大会結果

(チーム賞)

優勝：

長野県松本県ヶ丘高校 A

準優勝：

さいたま市立浦和高校 A

第3位：

浅野学園高校 A

準決勝出場チーム (第4位)：

長野県長野高校 A

準々決勝出場チーム (ベスト8)：

- ・栃木県立佐野高校 A
- ・洗足学園高校
- ・愛知県立旭丘高校 B
- ・神戸大学附属中等教育学校 A

大阪府立大学学長賞：長野県松本深志高校 A



(授業導入賞)

PDA では、ディベートの強いチーム作りをした学校だけではなく、一般生徒向けに、学校全体で即興型英語ディベートの授業導入された学校を称えます。授業導入賞は、提出された書類やカリキュラムから選ばれました。授業導入優秀賞を授与された高校に、世界交流大会への出場権が進呈されました。

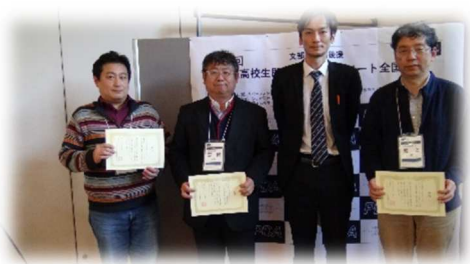
授業導入努力賞：

長野県松本深志高校、群馬県立前橋高校、ノートルダム清心学園清心女子高校、富士見高校、長野県上田染谷丘高校、鹿児島県立大島高校、神戸大学附属中等教育学校



授業導入地域貢献賞：

栃木県立佐野高校、長野県県ヶ丘高校、筑波大学附属駒場高校、熊本県立八代高校



授業導入特別賞：

福岡県立城南高校

※3 学年全クラス 1200 人全員が公式な授業において、即興型英語ディベートを実践できるカリキュラム作りが全国のモデルとして評価されました。

授業導入優秀賞：

- ・熊本県立済々黉高校
- ・大阪教育大学附属高校平野校舎
- ・京都市立紫野高校



(個人賞) (多数、個人名は略)

- ・ジャッジ賞
- ・ベストディベーター賞
- ・POI 賞
- ・PDA 即興型英語ディベート皆勤賞



以上の結果を受け、第2回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権は、以下の高校に進呈されました。

- ・長野県県ヶ丘高校（優勝）
- ・さいたま市立浦和高校（準優勝）
- ・浅野高校（3位）
- ・熊本県立済々黉高校（授業導入優秀賞）
- ・大阪教育大学附属高校平野校舎（授業導入優秀賞）
- ・京都市立紫野高校（授業導入優秀賞）



Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

アンケートの声（抜粋）

- ・とても良い勉強になりました。これから頑張ろうと思います。レベルの高いディベートをたくさん見ることができていい経験になりました。この悔しい気持ちを胸に来年またここへ来ます。（厚木・生徒1年）
- ・ジャッジのコメントが的確で、試合をしていない自分ですえもこうすればいいのかと学べる部分が多かった。（長野・生徒1年）
- ・自分の学校の中では感じられない空気感の中で、決勝の大会を見ることができて、とても光栄でした。（札幌聖心・生徒2年）
- ・64チーム出場という大きな大会に参加できて楽しかったです！（翔凛・生徒2年）
- ・他校の人とディベートすることはいろんな考えや技術を知ることになりとても楽しかった。交流もできて良かった。（旭丘・生徒1年）
- ・今回は合宿から数えて2回目の参加でしたが、合宿と比べてはるかにレベルが高く、題もとても難しく、ディベートの難しさを痛感しました。でも、なかなか英語が話せない中で、1日中英語で議論できたのはとてもうれしかったし、楽しかったです。ありがとうございました。（松江北・生徒2年）
- ・浦和や厚木という関東の闘ったことがあるチームとだけでなく、全国大会でしかあたることのできないような長野、熊本などと言った他県の学校と戦え、とても楽しかったです。自分たちが初日の最後に負けてしまった長野高校の良いところをたくさん知れてよかったです。（湘南・生徒2年）
- ・上手な人の言い回しや話し方を学べた。（豊中・生徒2年）
- ・他人を説得し、15分という短い時間の中でどれだけ人をインプットすることができるか、その方法が学べた。（神大附属・1年）
- ・専門家の方が論題を解説してくれてよかった。（竹園・生徒）
- ・世界大会への切符を得たこと。（浅野・生徒2年）
- ・自分の長所・短所がこのディベートに於いて分かった。（大津緑洋・生徒1年）
- ・レベルが高くて新鮮でした。（山形東・生徒2年）
- ・みなさんの英語がすばらしく、とても触発を受けた。（関西創価・2年）
- ・自分の力不足を認識できた。（嵯峨野・生徒1年）
- ・ディベートを8月のPDAで初めて知って、今回12月の今大会が引退試合となりました。4か月だけでしたが、自分の成長を感じることができてよかったです。悔しさをバネに、大学でもディベートを続けようという強い意志が持てました。（洗足・生徒2年）
- ・チームの主張を一貫させる練習ができた。（栄光学園・生徒1年）
- ・いろんな意見を聞いて、自分の考えが深まりました。（市立浦和・生徒1年）
- ・自分の全国での実力をつかむことができた。（県立浦和・生徒1年）
- ・リスニングの力が少しでも上がった。（大教大平野・生徒2年）

- ・他校の人たちとディベートをすることができて、モチベーションもあがった。(大島・生徒2年)
- ・京都だけでなく、関西、関東の高校生のディベートを見て、驚くことがあったり、吸収できることがあってこれからの自分の目標につながった。(紫野・生徒1年)
- ・3分間をいかに有効活用するか学べた。(清心・生徒1年)
- ・初めての全国大会だったので、他県の人と話ができて良かった。(上田染谷・生徒2年)
- ・全国の様々な高校と試合を見たり、したりしたときに様々な考え方を知ることができた。また Motion に対しての専門家の解説が聞けて、知識が増えた。(佐野・生徒1年)
- ・いろんな方々とディベートできて、自分のスピーチの改善点が分かった。(松本深志・生徒2年)
- ・資料無し、プレパなしの試合は新鮮でした。(聖マリア・生徒2年)
- ・いつもやる相手と全く違う方々とできてとてもいい経験になった。(富士見・生徒2年)
- ・たくさんの人と討論でき、普段できないような経験ができた。(濟々巒・生徒2年)

- ・ジャッジとしても学びのモチベーションが上がり、学校、学年の中でパーラをやってみたいと思った。つまり自分の気持ちの中に新しい意欲が湧いたこと。(長野高校・教員)
- ・(ショートレクチャーについて) 2日目に残れなかった学校も学習の機会を与えられていて大変良い。(山形東・教員)
- ・ほとんど予備知識がないまま参観し、このような活動が全国的に浸透しつつあることに感銘を受けた。(暁星・教員)
- ・授業で練習させていた生徒たちに大会で試合に出る経験を与えられた。(筑駒・教員)
- ・生徒がハイレベルな環境でディベートを経験することができた。(城南・教員)
- ・普段見ることのできない全国の名門校の試合やジャッジの方々の判定、コメントなどを学ぶことができ、とてもよい勉強になりました。(東海・教員)
- ・多くの人に出会えたことにまず感謝です。コネクションを作れた。(八代・教員)
- ・参加した生徒が経験を積めてよかった。(清林館・教員)
- ・さまざまな高校との交流ができたことと、準備段階での学習が効果的だった。(県ヶ丘・教員)
- ・本校の生徒が他県の生徒の様子を見て、更に向上心を強くした。(弘前・教員)
- ・生徒たちが一生懸命に考え、英語を使っていたことに感銘を受けた。(ウルスラ・教員)
- ・ディベートを全国の仲間と楽しむ豊かな時間でした。(栄光・教員)

以上